

特定非営利活動法人
大阪市地域福祉施設協議会

総 会 議 案 書

2020年（令和2年）5月25日（月）

< 書 類 審 議 >

◆ 議 案 ◆

- ① 2019年度事業報告
- ② 2019年度決算報告
- ③ 監 査 報 告
- ④ 2020年度事業計画案
- ⑤ 2020年度事業予算案
- ⑥ そ の 他

2019年度 事業報告

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

2019年度総会 5月27日（月）大阪市立社会福祉センター

② 役員会の開催

5月14日（火）、10月21日（月）、12月9日（月）、
3月6日（金）

③ 施設長会の開催

3月17日（火） ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

④ 各種委員会の開催

- | | |
|---------------|--|
| ◆ 企画委員会 | 事業等の企画・運営・調整 |
| ◆ 拡大企画委員会 | 事業等の企画・運営 |
| ◆ 研修委員会 | 各種分野別研究会等の計画・実施 |
| | ① 地域の子育て支援研究会 |
| | ② 地域の子ども研究会 |
| | ③ 地域の障がい児・者研究会 |
| | ④ セツルメント研究会 |
| ◆ 自然体験施設事業委員会 | ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動（小・中・高生） |
| | ②びわこセツルの家改修工事 |

《 特別委員会 》

- | | |
|---------------|----------------------------|
| ◆ バザー実行委員会 | 第21回自然体験施設応援バザーの企画・運営 |
| ◆ 全国研修会準備委員会 | 日地協主催 第24回全国地域福祉施設研修会名古屋大会 |
| ◆ 全国児童部会準備委員会 | 日地協主催 第18回全国地域福祉施設研修会児童部会 |

2. 年間行事

5月26日	第34回 ともだちドッジボール大会	長 居 小
5月27日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市立社会福祉センター
7月 25~26日	第62回 大都市社会福祉施設協議会	札 幌 市
7~ 8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月22日	第18回 全国地域福祉施設研修会児童部会	大 阪 市
11月10日	第49回 ともだちフェスティバル	長 居 公 園
1月12日	第25回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月26日	第21回 自然体験施設応援バザー	長 居 保 育 園
1月30日	新 年 会	か つ ら 亭
2月15~16日	第24回 全国地域福祉施設研修会	愛 知 県

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業報告

・ 5月16日	セツルに家利用打ち合わせ会	長居保育園
・ 6月30日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 7月 4日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 8月 9日	セツルの家消防訓練（やまと学園子どもの家）	セツルの家
・ 9月10日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月14~15日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月~3月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜側駐車場側の草刈り、整備
- ・ 浜東側溝の清掃、草刈り、整備
- ・ 台風被害、浜整備工事
- ・ 飛び込み台新調（2台）
- ・ 本棟、別棟のエアコン設置（3台）
- ・ 二層式の洗濯機新品1台購入

③利用施設 23施設

④利用泊数 41泊

○利用延べ人数 2,270人

⑤利用施設からのアンケート

- ・ 新調された「飛び込み台」を楽しむことが出来た。
- ・ エアコンを設置してもらい、猛暑対策が出来て安心だった。
- ・ 浜の階段が設置され、便利になった。
- ・ 別棟の浜側のバルコニーが立派になった。
- ・ 40cm程のニゴイの死骸が浜に数匹打ち上げられて、異臭がひどく埋める。
- ・ 散歩の途中、JR高架下でマムシを見かける。
- ・ JR高架下で畑作をしている「野母清敬」さんから「野菜の摘み取り」を誘われる。
- ・ 冷蔵庫に前の施設の食材が残っていることがあるので確認してほしい。
- ・ トイレ立ち便器（右側）詰まることが多い。
- ・ 水難事故の注意喚起のため駐在所の訪問を受ける。

⑥担当 宮川、竹内（長居保育園）

4. ワークキャンプ

①活動報告

○日時 6月30日（日）

※雨天のため中高生のワークキャンプは中止

5.自然体験施設応援バザー

①第21回 自然体験施設応援バザー

『長～居お付き合い令和もよろしくね♡バザー』

○日 程 : 2020年1月26日(日) 11:00~15:00

○開催場所 : 長居保育園、長居保育園乳児センター

○参加施設 : 愛染橋保育園・阿さひ保育園・育徳園保育所・今川学園・風の子保育園
今池こどもの家・四貫島友鄰館・大国保育園・特養いくとく
長居保育園・南港東保育園・やまと保育園・望之門保育園
平和の子保育園・わかくさ保育園・北田辺保育園・都島友の会
地域の子ども研究会ほか

○収支報告

	収 入	支 出
金券	487,000	
物品	90,000	
Tシャツ販売	117,890	
みかん販売売上	7,250	
振込手数料		550
合計	702,140	550
純利益		701,590

※経費につきましては主催法人が負担いたしました。

○まとめ

- ・「職員間の交流」という事を意識し、施設間、職員間でスタンプラリーを実施しました。若手の職員を中心に各ブースを回る事で、新たな交流が生まれたと実感しました。
- ・OB、OGの中高生にかえっこ広場のブースを担当してもらうことで、卒業生の交流や、活躍の場ができたと思います。今後も中高生の活躍の場として、バザーで何かできればと思います。
- ・当日は雨予報で、心配しましたが、お昼からは太陽も顔を出し、バザー日和となりました。
- ・加盟会員、施設の皆さま、そして当日のスタッフの熱意の甲斐もあり、準備から片付けまで、無事に終わることが出来ました。多大なご支援、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第18回児童部会

- ◆ 日 程 2019年 9月 22日(日)
- ◆ 開催場所 大阪市 長居ユースホテル
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
大阪市地域福祉施設協議会

② 2019年度 第24回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2020年 2月 15日(土) ~ 16日(日)
- ◆ 開催場所 東海市(日本福祉大学 東海キャンパス)
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協議会

③ 全体研修会(地域福祉研修会)の実施

(1) 全体研修Ⅰ(地域福祉研修):延期

- 日 程 4月24日(金)
- 時 間 18時45分~20時45分
- 会 場 育徳園保育所 幸分ホール
- 内 容

全国地域福祉施設研修会(第23回東京大会)と大地協NPO法人取得10周年記念式典と祝賀会の報告を兼ねた研修会を4月24日に企画したが、延期になり、全体研修Ⅱにその内容を盛り込んだ。

(2) 全体研修Ⅱ「地域の中で施設は何ができるか」

- 日 程 2019年10月18日(金)
- 時 間 18時45分~20時45分
- 会 場 育徳園保育所 幸分ホール
- 参加者 28名
- テーマ 学生セツルメントの歴史と実践
—地域や施設との関係に注目して—
- 講 師 岡本周佳さん

(日本福祉大学大学院博士課程・もと大阪府立大学学生セツラー)

内 容

第1部 NPO法人取得10周年記念式典と祝賀会の報告

倉光会長よりスライドを用いて臨場感たっぷりの報告をいただいた。

まずは、全国の地域福祉の仲間やご来賓からのお祝いの紹介ののち、次の10年に向けての施設の新たな役割と抱負が語られた。

第2部 第23回全国地域福祉施設研修会東京大会の報告

小谷事務局長より研修会のエッセンスを報告いただいた。第23回東京大会の運営も、第22回大阪大会の若手中心の運営が刺激となり、都立の児童館スタッフ

を中心に施設長だけではなく、現場のスタッフの活躍により素晴らしい大会となったと報告された。

最後に、セツルメントに取り組む私たちの姿勢として「鳥がついばむからといって種を蒔くことをやめない」という学びが紹介された。

第3部 全体研修会テーマ「施設は地域で何ができるか」

学生セツルメントの歴史と実践

—地域や施設との関係に注目して—

まず、セツルメントの思想と歴史について語られた。そして学生セツルメントの歴史と実践に注目した報告を通して「地域と施設の関係性という現代的な課題」について考える機会をいただいた。

日本のセツルメントの分類の一つ「大学型」を、戦前の「大学セツルメント」と戦後の「学生セツルメント」に整理してその活動の報告がなされた。

はじめに、亀有みどり保育園の実践や東大セツルメントが行った震災救済をもとにした大学生による主体的、自主的実践の展開と創造について語られた。

次に、愛染園学生セツルメントの活動などを通し、住民の要求に応じて地域課題に向き合い、地域や住民とともに作りあげた実践や、学生にとっても大学の学びと実社会との往還的学びにもなったというエンパワメントにもつながった側面を報告された。

学生セツルメントの運動と実践を学び、現在、制度による福祉を進める施設は、制度に安住してはいないだろうか。時代背景は違うけれども学生セツルメントの行った自由な（ニーズに応じた）福祉活動から学ぶ必要があるのではないだろうかという議論がなされた。

また、当時は単に地域のデータを収集するのではなく、生活者の目線に視座を置いて行う調査活動により必要なニーズを把握し制度、政策の補完的役割を担うなど非常にピュアなセツルメントの精神を見た気がした。

今、施設が地域や学生などと相互の信頼関係を築き、ともに自由な活動を可能とするあり方が求められているのではないだろうか。

(3) 全体研修Ⅲ（障がい児・者研究会とのコラボ企画）

日 程 2019年2月4日（日）

時 間 18時45分～20時45分

会 場 育徳園保育所 幸分ホール

参加者 49名

内 容

◆ペアレント・トレーニングとは

子育てに取り組む保護者がその役割を積極的に引き受けていくことができるよう保護者と子どもを支援するためのプログラムである。

軽度発達障がいの子もたちはそれぞれに特徴的な困難を抱えており、また子育てをする保護者も日々悩みを抱えている。そういった家庭への支援としてペアレント・トレーニングがある。ペアトレを通して子どもの行動に焦点をあてて具体的にどのような対応ができるかを保護者と一緒に学習していく。

◆「育つ」「育てる」「育む」

生き物すべてに「育つ力」（本能）が備わっている。そのうえで本能が本能らしく発揮できる環境づくりが「育てる」ことである。時には育てる側の主観が強くなり「こうなってほしい」という思いにどんどん振り回され子育てにしんどさを抱えることも多いのではないだろうか。本来であれば子どもたちの「育つ」力を信じ子どもたちが伸びのびと育つよう共に育み、育てることが大切である。

◆大人のイライラの要因

子育てや日々の保育の中でついつい子どもたちに「早くして」「急いで」などせかしてしまうことがある。だがそもそも子どもたちと大人では時間の流れが違うのである。時間の流れが違う子どもたちをどれだけせかしてもそれは全く子どもたちには伝わらず子どもたちが急ぐ必要性もない。それでも大人は子どもたちに自分たちの時間の流れと同じように物事をおしつけてしまう。それには大きな要因が2つある。

1つは環境的な要因であり、「急いでいる」また「自分の体調が悪い」ということである。2つ目は心の要因である。周囲の言葉に敏感になりすぎてしまったり、周りの子どもと比べてしまうこと、理想と現実とギャップを感じる時や子どもに対してイヤな部分ばかりが目につきいつまでたっても見通しが立たない時など様々である。

◆子どもへの伝え方

“伝えた” = “伝わった” と大人は解釈しているがそれはその時の“勢い”や“雰囲気”だけで何となく従っているだけではないだろうか。

◆基本は子どもにこたえること

子育てや保育の中で絶対に「こうでなければならない」ということは実際とても少ない。だが、ついつい型にはめて子育てや保育をしてしまうことは多いのではないだろうか。子どもの望みにこたえ続けることで安心感が育ち、その安心感こそが基本的信頼に繋がっている。そして基本的信頼が構築されて初めて自己肯定感が育つ。

◆日本の伝統的な子育てと現代

先進国の中でも特に日本は自己肯定感が低い。それは日本古来の文化と価値観が定着し、完璧で当たり前。できて当たり前。そしてすぐに結果が求められできていないと評価されない日本の文化、価値観が影響されている。

子育てをする保護者にとっても目に見えないプレッシャーを社会全体が与えているのではないだろうか。親なのだからできて当たり前ではなく親であっても初めて親になり、初めて子育てをする。優・良・可で子どもを判断するのではなく、当たり前のこともばかにしないでちゃんと褒めることが大切である。当たり前のことに目を向け継続できていることの大事さに気づき、継続できていることもしっかり褒めることで子どもたちの心も育まれていく。

7. 各種分野別研究会

I 地域の障がい児・者研究会

①活動報告

第1・2・4・5・7・8回 育徳園 第3・6回 望之門保育園
 (午後7時30分～9時開催…第7回より午後7時15分～8時45分開催に変更)

第1回	4/16	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の目的再確認 ・今年度の研修会ほか活動計画
第2回	5/21	<ul style="list-style-type: none"> ・フリートーク「LGBT 研修会より」 ・事例検討<望之門保育所>
第3回	6/18	<ul style="list-style-type: none"> ・フリートーク「多様性について」 ・支援者座談会テーマ検討
第4回	8/28	<ul style="list-style-type: none"> ・フリートーク「インクルーシブ教育って何」 ・支援者座談会の計画
第5回	9/3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者座談会の計画(当日の進行、担当、準備物の確認)
支援者座談会	10/29	テーマ「〇〇から学んだ〇〇の力」 ～あなたの経験をあなたの言葉で語り、 みんなで学びを共有し新しい感性を創る時間～ 会場：育徳園保育所 3階幸分ホール 参加35名
第6回	12/18	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者座談会の振り返り ・セツルメント研究会とのコラボ研修計画
第7回	1/22	<ul style="list-style-type: none"> ・コラボ研修の担当確認 ・次年度の研究会のテーマについて
大阪市地域福祉 施設協議会 研修会 (コラボ研修)	2/4	テーマ「子どもたちと笑顔でかかわるために ～ペアレント・トレーニングの話をヒントに～」 講師：子どもの発達相談室あおいとり 言語聴覚士 藤川典子先生 会場：育徳園保育所 3階幸分ホール> 参加49名
第8回	2/19	<ul style="list-style-type: none"> ・フリートーク「研究会で話し合いたい議題」 ・次年度の活動計画
第9回	3/16	<ul style="list-style-type: none"> ・中止 (新型コロナウイルスの影響のため)

Ⅱ 地域の子育て支援研究会

①テーマ

“学ぼう！知ろう！実践しよう！”

②活動報告（4施設5名の参加）

○愛着関係の築き方①

◆日時 6月12日（水）19：30～

◆場所 育徳園保育所

◆内容 0歳児と担当保育士との関係について、事例をもとに考察した。担当保育士への依存が強く、他児や他の保育士に関係性が広がらなかったという事例で、愛着関係の築き方について話し合いをした。話し合いの中では、安心できる環境を整えることの大切さや不安感から生まれる人への依存、また子どもが保育士に対して依存するだけではなく、保育士もその子どもに依存するという共依存など、キーワードになる言葉がたくさん出た。子どもの育ちを考え、将来を見据えた関わりが重要であり、一対一の愛着関係から、友だちや保育士へと人間関係が広げられるように関わる大切であるという意見に至った。愛着関係を築いていく中で、子どもを囲い込むような関係ではなく、大らかな気持ちで関わることも加えて大切だという意見もでた。今回の検討会から“愛着関係”について、さらに理解を深めていきたいと感じた。

○愛着関係の築き方②

◆日時 7月16日（火）19：30～

◆場所 やまと保育園

◆内容 2歳児と母親の愛着関係がうまく形成されずに育った事例を取りあげ話し合った。母親は、仕事が忙しく子どもとゆっくり関われない状態である。子どもは、園でも家庭でもわざといけないことをする困らせ行動を起こしたり、毛布に依存し手に持つと安心しているといった様子である。友だちとの関わりもうまく築けていない。現状を踏まえて、これからの関わりを考えた。毛布を持つと安心するというのは、毛布へのただのこだわりで、愛着とは関係ないのではないか？困らせ行動を起こすのは、愛着が形成されていないために自分のことを見てほしいサインかもしれない。気持ちをしっかりと受け止めて関わる必要がある。母親に対しては、本児のいいところを普段の会話の中で伝え、少しでも子育てが楽しいと思えるように導いていく。また、行事のときに成長した姿を見ることで安心感も得てもらうことが重要である。

○情報交換会

- ◆ 日 時 8月28日(水) 19:30～、9月25日(水) 19:30～
- ◆ 場 所 長居保育園、育徳園保育所
- ◆ 内 容 食事・排泄・睡眠・着脱など日常の保育の中での環境づくりや子どもとの関わりについて情報交換をした。
生活と遊びスペースが子どもたちの使いやすいように工夫されていたり、それぞれの場面での子どもたちとの関わり方など、写真や資料等を用いて話を進めた。睡眠時の観察方法についても話し合い、それぞれの園で方法が違うことに気づき参考になった。事故防止への関心がよりいっそう深まった。
情報交換を通して、自園の取り組みについて振り返りができ、保育を見直す良いきっかけとなった。これからも、こうした機会を挙げ、各園の取り組みについて情報交換を行っていききたい。

○保育現場のエピソードから子どもの権利を考える①

- ◆ 日 時 11月13日(水) 19:30～
- ◆ 場 所 望之門保育園
- ◆ 内 容 子どもへの言葉がけに着目し、“子どもの権利”について考えた。
保育の中で、保育士の価値観で言葉がけをしていないか？子どもの目線で言葉がけをしているだろうか？ということ具体的なエピソードを挙げて話し合った。
一日のプログラムをこなすため、次の活動のことを考えて、つい「早くしなさい！」と言ってしまったり、クラスリーダーの責任感から、口調が厳しくなったり、また保育への慣れの気持ちから子ども主体の言葉がけができていないのではないかなど話し合い、普段の保育をみつめ直すことができた。意見交換をするうちに、肯定的な言い方で話すことで、子どもの意欲がわいたり、自信につながったりするのではないかとということに気づくことができた。

○保育現場のエピソードから子どもの権利を考える②

- ◆ 日 時 2月20日(木) 19:30～
- ◆ 場 所 長居保育園
- ◆ 内 容 乳児と障がい児に焦点をしぼり、“子どもの権利”について考えた。
赤ちゃんの権利を守るというのは、どういうことだろう？の疑問に意見を出し合った。赤ちゃんの感情表現には、“泣く・笑う・怒る”などがあり、そのようなサインをしっかりとキャッチし応答すること、基本的な生活習慣の確立、子どもたちの遊びの保障、命を守ることなど、たくさんの意見が出た。応答をしっかりとすることで愛着につながり安心して生活ができる。ひとりひとりと大切に關わるということが子どもの人権を守ることだと再確認することができた。
障がい児の権利を守ることについては、集団行動が難しい子どもへの關わりを現場のエピソードから話し合った。制作活動や運動遊びなどの時に、一緒に参加することが難しく、關わりに悩んでいるといったエピソードが挙げられ、信頼關係を築くこと、個の特性を理解すること、将来を見通した關わりの大切さなどの意見が出た。
このエピソードに關しても、ひとりひとりと大切に關わるということが人権を守ることであるという結論にいたった。

③課題

- ・人員増を目指した発信方法
- ・開催時間の設定

Ⅲ.地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」
～踏み出す努力・視点・研究・還元～

②活動報告

(1)研究会の開催

- ・開催日：年間予定内の金曜日（おおよそ隔週） 開催時間：10：00～12：00
- ・会場：研究会参加施設 今年度は25回実施
※3月は新型コロナウイルス感染防止のため休止

(2)活動の4つの柱

(ア)子どもたちとの活動

- ・2019年度子ども達との活動では「出会い、知り、繋がろう」を目標に掲げ、合同行事で生まれる子ども達の出会いとふれあいを得るために取り組む。
 - ともだちドッジボール大会 5月26日（日）
長居小学校 参加児童254名
※気温が高く、安全面を配慮し、午後からのプログラムは中止した。
 - ともだちフェスティバル 11月10日（日）
長居公園 自由広場 参加者児童170名

- ・合同行事を通して、他施設の子ども達や学童指導員（支援員）、中高生とのつながりを大切にしたい。ドッジボールは苦手でも、フェスティバルの様な、親子で参加したり、自分の好きなブースを回りながら楽しみ自然と交流出来る形式も大切にしていきたい。
- ・子ども達が主体的に繋がろうと思えるよう、きっかけや環境作りにこれからも取り組む中で、子どもたち自身の声を聞きながらより良いものを共に考えていきたい。
- ・そして中高生が大地協との繋がりを感じ、自己発揮ができる居場所となる活動、学童期から中高生へと連続した関わりの中で、充実した活動となるように取り組んでいきたい。

(イ)情報交換

- ・学童期の子どもたちと関わる支援員同士、日々の現場での悩みなどを共有し、積極的に情報を獲得しに行く事を意識し、意見交換、ケース検討という形で共有する。
（保護者対応や発達につまづきのある子どもたちへの対応、保護者参加型のイベントについて、防災への取り組み等）を共有し他施設での対応を聞く事や、施設の垣根を越えて学童指導員（支援員）としての役割と目指すべき姿を討議する場になるよう取り組んだ。
- ・今後も行い実践に活かせるように、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施したい。

(ウ) 研究活動

- ・学童指導員（支援員）、地域福祉施設職員としての専門性を高める為、自ら学び共に研究を進めてきた。研究活動内容をスタッフ間で協議し、2019年度は“子どもの権利条約”“子どもとの関りや視点”“気がかりな子どもへの対応”というテーマで研究を行う。また、権利条約については児童部会でのテーマとして取り上げ、学びに出来たので、来年度も引き続き行っていきたいテーマとして考えている。

(エ) 研修活動

- ・全国地域福祉施設研修会第18回児童部会
9月22日 長居ユースホステル 参加者42名

IV. セツルメント研究会

①ねらい

- ・セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題や地域課題の早期発見と早期対応だけではなく、予防の視点を持ち、研究、研修活動に取り組んだ。研究活動に関しては、その成果を広く社会に発信、還元するために、大地協研究誌「地域福祉の諸問題」への掲載を継続的に行っている。
- ・研修活動では、セツルメントの歴史「学生セツルメント」からの学びや、日々の地域福祉実践から見えてきた課題や事例などを通して地域に暮らすすべての人が安心して生活できる社会づくりに向けた学習会に取り組んだ。

②活動報告

(1) 研究活動

(ア) 研究活動の目的

- ・セツルメント研究会は、人権と平和の視点から、いまおこっている深刻な社会問題に対して、現行の細分化と専門化による問題解決ではなく、分野の壁を越えた地域における実践や経験による知を結集し、私たちが直面する諸課題に挑むための研究をすることで持続可能な共生社会を構想していく。

(イ) 研究報告

○セツルメント研究「平和をセツルメントの視点で考える」

日 程 2019年9月17日（水）

時 間 18時45分～20時45分

会 場 育徳園子どもの家

参加者 14名

講 師 永岡 正己さん（日本福祉大学名誉教授、大地協副会長[特任理事]）

内 容

平和とは何か。広辞苑を引くと、①安らかで和らいだ状態、心配がなく穏やかなこと、平安。②戦争や紛争がないこと、世の中が穏やかな状態と記されている。

平和には、積極的平和主義と絶対的平和主義がある。「戦争をしないこと」それは、国際連合が出来たときの希望である。それが今、揺らいでいる。日本で国際的に誇るものに、内村鑑三の戦争をしない、戦争に反対するよりも、戦争そのものを否定する論理がある。

賀川豊彦は壮大な平和主義者であった。賀川豊彦の考え方は、まさにセツルメントの思想である。生産を一緒にやり、消費者につないでゆく。それは、営利的なシステムとは異なる。セツルメントの根底にあるのは、絶対的平和主義、協同の生き方、それを地域社会の中で実現してゆくことにある。

セツルメントは、協同社会を作ってゆく方法。地域社会をつくり、平和を実現することを目的のひとつとする。政治的に、権力の中心において実現するのではなく、民主主義的に平和を実現することを目指す。

社会福祉における根源的なサービスの意味とは、人に仕えるということ。

一人ひとりの主権の奥に、地域全体を見る。私たちは、どのような地域社会の創造をするのかということを考えていくことが大切。

社会福祉とは、ソーシャルワーク、ボランティア、当事者活動も入った理念をさすものでもある。その価値を思考することが大切。

セツルメントから考える平和とは、支え合って、支援しあって、平和を実現してゆくことではないだろうか。

(2) 研修活動

(ア) 歴史から学ぶ

- ・福祉現場において長年にわたる地域福祉実践、セツルメント活動に取り組みされた方を招き、大地協やそれぞれの地域実践の歴史から学ぶことで、その精神の継承と現代におけるセツルメントの意義を学ぶためのインタビューを行った。今年度は柿の木福祉会長居保育園の宮川ヒサ園長へのインタビューを行った。

(イ) 大地協全体研修会（地域福祉研修会）の企画と実施

○全体研修Ⅰ（地域福祉研修）：延期

日 程 4月24日（金）

時 間 18時45分～20時45分

会 場 育徳園保育所 幸分ホール

○全体研修Ⅱ「地域の中で施設は何ができるか」

日 程 2019年10月18日（金）

時 間 18時45分～20時45分

会 場 育徳園保育所 幸分ホール

参加者 28名

テーマ 学生セツルメントの歴史と実践

—地域や施設との関係に注目して—

講 師 岡本周佳さん

（日本福祉大学大学院博士課程・もと大阪府立大学学生セツラー）

○全体研修Ⅲ（障がい児・者研究会とのコラボ企画）

日 程 2019年2月4日（日）

時 間 18時45分～20時45分

会 場 育徳園保育所 幸分ホール

参加者 49名

近年、福祉現場において発達障がいのある子どもやその保護者が抱えるさまざまな悩みがよくきかれる。セツルメント研究会では、地域の障がい児・者研究会とコラボし、研修会を企画した。

※各研修会の内容につきましては、「6、職員の研修の開催・参加、③全体研修会（地域福祉研修会のページ）をご参照ください。

- (ウ) 先進的な活動をされている団体などとの連携と大地協の精神を地域へ発信
- ・先進的な取り組みや全国でセツルメント的な活動をされている諸団体との連携、交流などに取り組むことを目的にしている。
 - ・2019年度は、今社会問題化されている「子どもの貧困問題への取り組み」や、「社会的養育の視点」などから西成区の釜ヶ崎地区で活動をしているこどもの里を舞台としたドキュメント映画「さとにきたらええやん」の自主上映会を行った。

日 程 2020年12月8日（日）
時 間 10:00～15:00
会 場 KCC会館
参加者 上映会94名（懇親会28名）参加
内 容

上映会では、こどもの里が行っている取り組み、活動が映し出されていた。そこから現在の子どもたち、保護者、地域が抱える「貧困」が見えた。あそびの場、話を聴いてもらうことができる場、人と集える場、人と繋がれる場、そのような「安心できる居場所」となっているのがこどもの里だった。また、子ども、保護者、地域が抱えているしんどさに真摯に向き合い、受け止め、少しでも前を向くことができるように寄り添うこどもの里のスタッフの姿も描かれていた。

上映会後は、こどもの里理事長荘保氏と参加者による意見交換会が行われた。意見交換会では、映画で映し出された子どもたちのその後の姿や、映画では描き切れないたくさんの子どもたちの置かれている現状などを更に詳しくお話しして頂いた。荘保氏は、「こどもの里は、いつでも、誰でも、来ていいみんなの居場所」だと言われていた。また、地域全体で子どもたちの人権を守ることの大切さもお話しして頂いた。地域が一丸となり、それぞれの役割を担い、連携していくことで一人ひとりの人権を守ることができることを教えて頂いた。

研修会終了後は、荘保氏を囲んでの懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中研修会を終えることができた。

(エ) 交流型研修会の開催

- ・大地協加盟施設の施設内研修などに交流研修という形で相互的に参加することのできる仕組みを作り、日常業務（保育、介護、療育、様々な支援など）のなかで、地域福祉の視点を持ち、セツルメントとは何かということを感じ、考えることのできるような取り組みを行う。
- ・また、その中で施設や業種、分野の壁を超えたきめ細やかな支援ネットワークの形成や精神でのつながりを目指すことを目的とした。しかし実際は、大地協のつながりから、交流研修を実施したのは1施設にとどまった。今後この交流研修のシステムをどのように実現するのかについて考えていきたい。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動報告

○夏を迎える会

- ・ 2019年7月4日(木) 会場：育徳園保育所
- ・ 24名(12施設、個人会員1名)参加

○夏を惜しむ会

- ・ 2019年8月30日(金) 会場：特別養護老人ホーム いくとく
- ・ 28名(13施設)参加 その他、いくとく職員の参加が20名程度あり

○忘年会

- ・ 2019年12月9日(月) 会場：海鮮居酒屋 魚まる 難波駅前店
- ・ 20名(9施設、個人会員1名)参加

○新年会

- ・ 2020年1月30日(月) 会場：海鮮和風居酒屋 かつら亭 心齋橋店
- ・ 39名(15施設、個人会員1名)参加

9. 広報宣伝部

①ねらい

- ・ 大地協の取り組みをホームページ及びメーリングリストを使い、活動に協力・賛同いただいている方々(加盟施設、個人会員、利用者等)に報告する。

②活動報告

- ・ 事務連絡の一斉送信(随時)
- ・ ホームページ更新(随時)
※小谷事務局長、各研究会、各担当からメールをいただいたものを一斉配信するとともに、ホームページ上に掲載した。

- ・ 経費 ドメイン管理料 4,306 円
- ・ サーバーレンタル代 5,568 円

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

(1枚目/2枚中)

科目		決算額	予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	660,000	675,000	△ 15,000	
	個人正会員会費	45,000	45,000	0	
	調査研究・研修事業収入	210,000	0	210,000	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	16,279	200,000	△ 183,721	
	自然体験事業費	5,061,990	4,720,000	341,990	
	小中高生の生活体験事業収入	155,700	150,000	5,700	
	寄付金収入	260,000	480,000	△ 220,000	
	受取利息	63	71	△ 8	
	雑収入	17,218	2,100	15,118	
	拠点区分繰入金収入	4,501,332	2,558,773	1,942,559	
	積立金取崩収入	0	0	0	
	収入合計	10,927,582	8,830,944	2,096,638	
支出	事務費	304,973	222,000	82,973	
	会議費	172,021	200,000	△ 27,979	
	会費	110,000	120,000	△ 10,000	
	調査研究・研修事業費	467,105	290,000	177,105	
	まちづくり事業費	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	0	300,000	△ 300,000	
	自然体験事業費	5,841,967	5,628,880	213,087	
	管理費	152,400	120,000	32,400	
	バス借料	2,512,080	2,800,000	△ 287,920	
	備品・寝具	1,198,348	400,000	798,348	
	修繕費	1,140,424	1,500,000	△ 359,576	
	保険料	66,620	42,580	24,040	
	光熱水費(電話)	548,495	430,000	118,495	
	固定資産税	85,500	86,300	△ 800	
	自治会協力費	12,000	150,000	△ 138,000	
	ワークキャンプ経費	53,925	100,000	△ 46,075	
	雑費	72,175	0	72,175	
	小中高生の生活体験事業費	163,138	250,000	△ 86,862	
	雑費	48,186	150,000	△ 101,814	
	予備費	0	200,000	△ 200,000	
	拠点区分繰入金支出	4,501,332	2,558,773	1,942,559	
	積立金積立支出	0	0	0	
支出合計	11,608,722	9,919,653	1,689,069		
収支	収支差額	△ 681,140	△ 1,088,709	407,569	
	前年度繰越金	2,605,773	2,605,773	0	
	次年度繰越金	1,924,633	1,517,064	407,569	

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

(2枚目/2枚中)

拠点 科目	事務局 職員厚生部/生活文化部			センター			川口		
	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)
収入									
正会員会費	660,000	675,000	Δ 15,000	0	0	0	0	0	0
個人正会員会費	45,000	45,000	0	0	0	0	0	0	0
調査研究・研修事業収入	210,000	0	210,000	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	4,360,400	4,000,000	360,400	0	0	0
寄付金収入	30,000	300,000	Δ 270,000	130,000	80,000	50,000	0	0	0
受取利息	57	64	Δ 7	0	0	0	6	7	Δ 1
雑収入	17,218	0	17,218	0	2,100	Δ 2,100	0	0	0
拠点区分繰入金収入	1,950,167	700,000	1,250,167	2,289,020	1,483,880	805,140	121,346	104,893	16,453
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計	2,912,442	1,720,064	1,192,378	6,779,420	5,565,980	1,213,440	121,352	104,900	16,452
支出									
事務費	294,541	200,000	94,541	9,328	22,000	Δ 12,672	540	0	540
会議費	172,021	200,000	Δ 27,979	0	0	0	0	0	0
会費	110,000	120,000	Δ 10,000	0	0	0	0	0	0
調査研究・研修事業費	447,105	200,000	247,105	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	5,667,230	5,423,980	243,250	120,812	104,900	15,912
バス燃料	0	0	0	152,400	120,000	32,400	0	0	0
備品・道具	0	0	0	2,512,080	2,800,000	Δ 287,920	0	0	0
修繕費	0	0	0	1,198,348	400,000	798,348	0	0	0
保険料	0	0	0	1,120,335	1,500,000	Δ 379,665	20,089	0	20,089
光熱水費(電話)	0	0	0	41,720	17,680	24,040	24,900	24,900	0
固定資産税	0	0	0	472,672	350,000	122,672	75,823	80,000	Δ 4,177
自治会協力費	0	0	0	85,500	86,300	Δ 800	0	0	0
ワークキャンプ費用	0	0	0	12,000	150,000	Δ 138,000	0	0	0
雑費	0	0	0	72,175	0	72,175	0	0	0
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	48,186	30,000	18,186	0	120,000	Δ 120,000	0	0	0
予備費	0	200,000	Δ 200,000	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金支出	2,521,729	1,858,773	662,956	1,102,862	0	1,102,862	0	0	0
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	3,593,582	2,808,773	784,809	6,779,420	5,565,980	1,213,440	121,352	104,900	16,452
収支差額	Δ 681,140	Δ 1,088,709	407,569	0	0	0	0	0	0
前年度繰越金	2,605,773	2,605,773	0	0	0	0	0	0	0
次年度繰越金	1,924,633	1,517,064	407,569	0	0	0	0	0	0
拠点 科目	ワークキャンプ			センター			地域の子ども研究会		
収入									
正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	0	20,000	Δ 20,000	0	0	0	0	0	0
小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	701,590	700,000	1,590	155,700	150,000	5,700
寄付金収入	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	53,925	80,000	Δ 26,075	0	0	0	66,874	100,000	Δ 33,126
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計	53,925	100,000	Δ 46,075	701,590	700,000	1,590	338,853	550,000	Δ 211,147
支出									
事務費	0	0	0	0	0	0	564	0	564
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査研究・研修事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	53,925	100,000	Δ 46,075	0	0	0	0	300,000	Δ 300,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品・道具	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水費(電話)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ワークキャンプ費用	53,925	100,000	Δ 46,075	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	163,138	250,000	Δ 86,862
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金支出	0	0	0	701,590	700,000	1,590	175,151	0	175,151
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	53,925	100,000	Δ 46,075	701,590	700,000	1,590	338,853	550,000	Δ 211,147
収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
次年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点 科目	ワークキャンプ			センター			地域の子ども研究会		
収入									
正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	0	20,000	Δ 20,000	0	20,000	Δ 20,000	20,000	50,000	Δ 30,000
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計	0	20,000	Δ 20,000	0	20,000	Δ 20,000	20,000	50,000	Δ 30,000
支出									
事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査研究・研修事業費	0	20,000	Δ 20,000	0	20,000	Δ 20,000	20,000	50,000	Δ 30,000
まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品・道具	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水費(電話)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ワークキャンプ費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	0	20,000	Δ 20,000	0	20,000	Δ 20,000	20,000	50,000	Δ 30,000
収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
次年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NPO法人 大阪市地域福祉施設協議会 財産目録

2020年(令和2年)3月31日 現在

(単位:円)

種類	場所等	使用目的	金額
預金	りそな銀行 萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園)	会費受け入れ、支払い等	1,224,598
預金	りそな銀行 萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園)	山の家 支払い等	695,310
預金	三菱UFJ銀行 大阪恵比寿支店 普通預金口座 (望之門保育園)	山の家 支払い等	4,725
預金	近畿大阪銀行 長居支店 普通預金口座 (長居保育園)	琵琶湖セツルの家関係	0
預金	ゆうちょ銀行 四〇八店 普通預金口座 (望之門保育園)	修繕積立金	6,000,000
現金	小口現金 (愛染橋保育園)	本部経費 支払い	0
現金	小口現金 (わかくさ保育園)	本部経費 支払い	0
現金	小口現金 (育徳園保育所)	企画委員会経費 支払い	0
現金	小口現金 (地域のこども研究会)	地域のこども研究会経費 支払い	0
現金	小口現金 (長居保育園)	琵琶湖セツルの家関係 支払い	0
土地	セツルの家 土地 623.03平米	セツルの家駐車場	30,000,000
資産合計			37,924,633

会長 倉光 慎二 様

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収書等精査した結果、適正に処理されていることを確認いたしましたことをご報告いたします。

2020年5月11日(月)

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事

戸田 正三 (印)

監事

篠瀬 実千代 (印)

2020年度 事業計画（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

2020年度総会<書類審議> 5月25日（月）

② 役員会の開催

5月15日（金）、以降随時

③ 施設長会の開催

（随時）

④ 各種委員会の開催

◆ 定例企画委員会

事業等の企画・運営・調整

◆ 拡大企画委員会

事業等の企画・運営

◆ 研修委員会

各種分野別研究会等の計画・実施

① 地域の子ども研究会

② 地域の子育て支援研究会

③ 地域の障がい児・者研究会

④ セツルメント研究会

◆ 自然体験施設事業委員会

①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動

ワークキャンプ活動（小・中・高生）

②びわこセツルの家改修工事

《 特別委員会 》

◆ バザー実行委員会

第22回自然体験施設応援バザーの企画・運営

◆ 全国研修会準備委員会

日地協主催 第25回全国地域福祉施設研修会東京大会

◆ 全国児童部会準備委員会

日地協主催 第19回全国地域福祉施設研修会児童部会

2. 年間行事

5月17日	第35回 ともだちドッジボール大会	中 止
5月18日	大阪市地域福祉施設協議会総会	書 類 審 議
7月 ~ 日	第63回 大都市社会福祉施設協議会	川 崎 市
7~ 8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月 日	第19回 全国地域福祉施設研修会児童部会	東 京 都
11月 日	第50回 ともだちフェスティバル	長 居 公 園
1月 日	第26回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月 日	新 年 会	(未 定)
1月24日	第22回 自然体験施設応援バザー	愛染橋保育園
2月19~20日	第25回 全国地域福祉施設研修会	大 阪 市

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業計画

・ 5月	セツルの家下見	セツルの家
・ 月 日	セツルの家利用打ち合わせ会	長居保育園
・ 月 日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 月 日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 月 日	セツルの家消防訓練(担当施設:)	セツルの家
・ 9月 日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月5~6日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月~3月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜、駐車場の清掃・草刈り・整備
- ・ 浜東側、溝の清掃・整備

4. ワークキャンプ

①活動計画

- ・ 月 日 ()、琵琶湖セツルの家を拠点としたワークキャンプ活動を実施していく予定。

5.自然体験施設応援バザー

①第22回 自然体験施設応援バザー

日 程 2021年 1月 24日(日)
開催場所 愛染橋保育園

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第19回児童部会

◆ 日 程 2020年 月 日(日)
◆ 開催場所
◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東京都城東地区地域福祉施設協議会

② 2020年度 第25回全国地域福祉施設研修会

◆ 日 程 2021年 2月 19日(金)～20日(土)
◆ 開催場所 大阪市(大阪キリスト教短期大学)
◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
大阪市地域福祉施設協議会

③ 全体研修会(地域福祉研修会)の実施

- ・ 日程、開催場所、詳細については未定。
- ・ これまで大地協が大事にしてきた理念や先人の思い、実践などを学び、共有していくとともに、これからの地域福祉施設、職員のあり方を議論し合える場を提供する。
- ・ 第25回全国地域福祉施設研修会に向けて、継続的に研修会を企画、運営をしていく。

7. 各種分野別研究会

I. 地域の子育て支援研究会

①目的

- ・ 施設を越えて意見交換・情報交換をする中で、共感したり、気づきにつながり、保育をより充実させることを目的とする

②活動計画

- ・ それぞれの施設の取り組みについて情報交換をする
- ・ 子どもについての事例検討会
- ・ 保護者支援について
- ・ 施設の見学会（保育内容を見ることができる時間に設定）

③その他

- ・ 構成メンバーについて
固定のメンバーで活動（研修会を企画した時は他施設に呼びかける）
- ・ 新型コロナ感染防止のため、活動は夏以降とする。

II. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」
～踏み出す努力・視点・研究・還元～

②活動計画

(1) 開催について

- 開催日：年間予定内の金曜日（おおよそ隔週） 開催時間：10:00～12:00
- 会場：研究会参加施設

※開催日程については、取り組んでいる研究・研修会や行事の準備など、必要最低限の回数実施予定。詳細は、毎月の通信で各施設に知らせる。

(2) 活動の4つの柱

(ア) 子どもたちとの活動

- ・ 子どもたちとの活動では「出会い、知り、繋がろう」を目標に掲げ、合同行事で生まれる子どもたちの出会いとふれあいを得られるように取り組み、子どもたちが「主体性」を持って取り組んでいけるように工夫していきたい。
- ・ 他施設や地域の子どもたちとの合同行事を通じ、子どもたちが主体的に繋がろう

と思えるような環境やきっかけ作りに取り組む。他施設間の子どもたち同士や、大人との関わりを繋ぐ役割を担い、更に合同行事が地域と繋がる場になる事を目指し、企画する。

- ・ 中高生が大地協との繋がりを感じ、自己発揮ができる居場所となる活動、学童期から中高生へと連続した関わりの中で、充実した活動となるように取り組む。行事の手伝いだけでなく、自然体験活動（セツルワークキャンプ）等の実施やワークキャンプへの6年生の参加を促すことで中高生活動へつながるようにしたい。
- ・ 合同行事以外でも子ども同士の繋がりを意識できるようにきっかけを作る事も役割として担い、それぞれの子ども達の「今」だけではない「先（未来）」の豊かさにも繋がっているという願いを込めて活動する。

（イ）情報交換

- ・ 学童期の子どもたちと関わる学童指導員（支援員）同士、積極的に情報を獲得しに行く事を意識し、日々の現場での悩みなど、意見交換やケース検討を通して共有していく。それぞれの職員が持つ課題を共有し、他施設での対応を聞く事や、施設の垣根を越えて学童指導員（支援員）としての役割と目指すべき姿を討議する場とする。そして実践に活かせるよう、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるようにする。

（ウ）研究活動

- ・ 学童指導員（支援員）・地域福祉施設職員としての専門性を高める為、自ら学び、共に研究する。研究活動内容をスタッフ間で協議し、昨年に引き続き“子どもの権利条約”というテーマは残しながら、さらに2つ程度の研究を行う予定。上記テーマで実践を伴い、研究を深め、更に研究会スタッフ間に留まらず自施設の子どもたちや職員に学びを還元できるように、テーマ設定を行う。その中で得たことを、研修会として企画、開催し、研修活動と連携した活動を視野に入れ、計画的に活動する。

（エ）研修活動

- ・ 個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにも繋がる研修会を目指し、実施内容を検討する。
- ・ 企画に向けては、地域の子ども研究会のみならず、大地協本部・加盟各施設・在籍職員の協力を仰ぎ、地域の子ども研究会が企画主体となり実施に向けて進める。また、他の研究会とも連携した研修会を目指し、各研究会の方々と専門分野を越えた横のつながりを持ち、合同研修を通じて新たな気付きや取り組みの方法を見つける。また、研究活動の内容をさらに深め、多くの方と共有できるよう、専門的な講師に依頼した研修を計画していく。

地域の子ども研究会は、以上4つの柱から学び、得られるものを、子どもたちへ、施設へ、地域へ、とかえす意識と役割を持ち、研究会での活動に取り組む。

(3) 合同行事の実施日程（予定）

- ・ 5月17日（日）第35回ともだちドッジボール大会
- ・ 11月末定（日）ともだちフェスティバル

Ⅲ.地域の障がい児・者研究会

①活動方針

「地域の中で暮らしていく上での問題とは何かを明確にする」－発見
「地域の中で暮らしていく上ではどのような支援が必要なのかを明確にする」－実践
「共に学び、共に語る」－対等

②活動の柱

(1) 定例会＜月1回の活動＞

- ・ フリートークや事例検討の在り方を含めて、定例会の内容を検討中。

(2) 研修会＜年2回の開催＞

(ア) 支援者座談会の新しいスタイルを検討

- ・ カフェ形式を計画。日程、会場、具体案は未定

(イ) 外部講師を招いての勉強会

- ・ 大地協主催という形式
- ・ 課題のある施設で開催
- ・ 話を聞いてみたい講師を募集する、など

(3) 検討事項

- ・ 支援者自身（保育士を中心とする）の自尊感情についての調査の実施を検討中。
- ・ 介護士も含め、広く対人援助職に対象を広げるということも含めて、次年度の活動を考えている。

(4) 予算

- ・ 年2回の研修会の講師料ほか 20,000円×2 計、40,000円

③大切にしたい視点

- ・ 障がいのある子ども本人の権利と主体性
- ・ 障がいのある子どもの保護者の権利と主体性
- ・ 障がいのある子どもと関わる職員のスキルアップ
- ・ 地域住民の理解
- ・ 多くの機関とのネットワーク

Ⅳ.セツルメント研究会

①ねらい

- ・ セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題や地域課題への早期発見と早期対応と予防という視点を持ち、研究、研修活動に取り組む。研究活動に関しては、研究誌「地域福祉の諸問題」への掲載など、その成果を広く社会に発信、還元する。
- ・ また、研究活動では、セツルメントの歴史からの学びや、日々の地域福祉実践から見えてきた課題などを通して地域に暮らすすべての人が安心して生活できる社会づくりに向けた学習会を行う。

②活動計画

（1）研究活動

- ・ セツルメント研究会は、人権と平和の視点から、いま起こっている深刻な社会問題に対して、現行の細分化と専門化による問題解決ではなく、分野の壁を越えた知を結集し、私たちが直面する諸課題に挑むための研究をする。
- ・ 2020年度は、コロナ禍により世界的な規模でつながることが許されず、ありとあらゆる人が苦しんでいる。そのような状況の中で、社会的弱者への対応が後回しになることや、差別や排除などの厳しいまなざしも見られる。
- ・ 日本においても「ステイホーム」を合言葉に日常の暮らしやつながりが遮断され、孤独に陥りやすい状況がある。さらに、さまざまな理由から困窮されている人の孤独は深いものと思われる。
- ・ 誰ひとり取り残さないとの理念をもち、実際に会えなくても「つながれる」ということをお互いに理解し合える持続可能な共生社会を構想していく。

（2）研修活動

○歴史から学ぶ

- ・ 福祉現場において長年にわたる地域福祉実践、セツルメント活動に取り組まれた方を招き、大地協やそれぞれの地域実践の歴史から学ぶことで、その精神の継承と現代におけるセツルメントの意義を学ぶための研修会やインタビュー（シリーズ化を計画している）を行う。

○全体研修（地域福祉研修）

- ・ 全体研修会はセツルメント研究会が主体的に担ってきたが、今年度は、第25回全国地域福祉施設研修会（以下、全国研修）が大阪大会ということもあり、その実行委員会と連携、協働する形で計画を進める。全国研修のテーマをもとに事前学習会などを担当することを計画。

○先進的な活動をされている団体などとの連携と大地協精神の発信

- ・ 先進的な取り組みや全国でセツルメント的な活動をされている諸団体との連携、交流などに取り組む。

- ・ 適宜必要なテーマに合わせた講演会の開催や「映画の自主上映会」、先進事例の視察などを計画している。

○交流型研修会の開催

- ・ 大地協加盟施設の施設内研修などに交流研修という形で相互的に参加することのできる仕組みを作り、日常業務（保育、介護、療育、様々な支援など）のなかで、地域福祉の視点を持ち、セツルメントとは何かということを身近に感じ、考えることのできるような取り組みを行う。
- ・ また、その中で施設や業種、分野の壁を超えたきめ細やかな支援ネットワークの形成や精神でのつながりを目指す。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動計画、内容

- ・ 7月頃 夏を迎える会
- ・ 9月頃 夏を惜しむ会
- ・ 12月 忘年会
- ・ 1月 新年会

※美味しい料理を食べ、心、身体の疲れを癒す交流会を企画していく。

施設間の交流を深める為、職場紹介や仕事観の違いなど、互いに話せる場、また新人職員が参加しやすいように前年度に中止になった「スイーツ交流会」などを行うなか、あたたかい雰囲気作りを大切にしていく。

※今年度は、「新型コロナウイルス」の感染拡大の影響で交流会等の会合を持ちにくいことが予想されるが収束の後には厚生部の企画を実施できるようにしていく。

9. 広報宣伝部

①ねらい テーマ

- ・ ホームページに大地協の活動を随時掲載し取り組みを広く一般に周知する。
- ・ メールングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。

②活動計画

- ・ 事務連絡の一斉送信（随時）
- ・ ホームページ更新（随時）
- ・ 経費 ドメイン管理料 4,306 円
サーバーレンタル代 5,568 円
- ・ メールングリストについて、現在は大地協の全施設宛（ml@daichikyo.jp）と地域の子ども研究会（kodomo@daichikyo.jp）の2グループを使用している。
- ・ 現在レンタルサーバーを契約しているプランでは、10 グループまでメールングリストを作成できるので、企画委員会や各研究会のメールングリストが必要であれば作成する。

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書

(1枚目/2枚中)

科目		予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	675,000	675,000	0	
	個人正会員会費	45,000	45,000	0	
	調査研究・研修事業収入	210,000	0	210,000	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	10,000	200,000	△ 190,000	
	自然体験事業費	2,300,000	4,720,000	△ 2,420,000	
	小中高生の生活体験事業収入	100,000	150,000	△ 50,000	
	寄付金収入	110,000	480,000	△ 370,000	
	受取利息	55	71	△ 16	
	雑収入	10,000	2,100	7,900	
	拠点区分繰入金収入	1,961,800	2,558,773	△ 596,973	
	積立金取崩収入	0	0	0	
	収入合計	5,421,855	8,830,944	△ 3,409,089	
	支出	事務費	250,500	222,000	28,500
会議費		150,000	200,000	△ 50,000	
会費		110,000	120,000	△ 10,000	
調査研究・研修事業費		280,000	290,000	△ 10,000	
まちづくり事業費		0	0	0	
スポーツ文化的事業費		0	300,000	△ 300,000	
自然体験事業費		3,611,300	5,628,880	△ 2,017,580	
管理費		152,400	120,000	32,400	
バス借料		2,000,000	2,800,000	△ 800,000	
備品・寝具		600,000	400,000	200,000	
修繕費		120,000	1,500,000	△ 1,380,000	
保険料		424,900	42,580	382,320	
光熱水費(電話)		161,500	430,000	△ 268,500	
固定資産税		85,500	86,300	△ 800	
自治会協力費		12,000	150,000	△ 138,000	
ワークキャンプ経費		55,000	100,000	△ 45,000	
雑費		0	0	0	
小中高生の生活体験事業費		160,000	250,000	△ 90,000	
雑費		30,000	150,000	△ 120,000	
予備費		200,000	200,000	0	
拠点区分繰入金支出		1,961,800	2,558,773	△ 596,973	
積立金積立支出	0	0	0		
支出合計	6,753,600	9,919,653	△ 3,166,053		
収支	収支差額	△ 1,331,745	△ 1,088,709	△ 243,036	
	前年度繰越金	1,924,633	2,605,773	△ 681,140	
	次年度繰越金	592,888	1,517,064	△ 924,176	

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書

(2枚目/2枚中)

拠点 科目	事務局 職員厚生部 広報宣伝部			セツルの家			山の家			
	予算額	前年度予算額	増減(△)	予算額	前年度予算額	増減(△)	予算額	前年度予算額	増減(△)	
収入	正会員会費	675,000	675,000	0	0	0	0	0	0	
	個人正会員会費	45,000	45,000	0	0	0	0	0	0	
	調査研究・研修事業収入	210,000	0	210,000	0	0	0	0	0	
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	0	0	0
	寄付金収入	30,000	300,000	△ 270,000	0	0	0	0	0	
	受取利息	55	64	△ 9	80,000	80,000	0	0	0	
	雑収入	10,000	0	10,000	0	2,100	△ 2,100	7	△ 7	
拠点区分繰入金収入	300,000	700,000	△ 400,000	1,405,400	1,483,880	△ 78,480	121,400	104,893	16,507	
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入合計	1,270,055	1,720,064	△ 450,009	3,485,400	5,565,980	△ 2,080,580	121,400	104,900	16,500	
支出	事務費	250,000	200,000	50,000	0	22,000	500	0	500	
	会議費	150,000	200,000	△ 50,000	0	0	0	0	0	
	会費	110,000	120,000	△ 10,000	0	0	0	0	0	
	調査研究・研修事業費	200,000	200,000	0	0	0	0	0	0	
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	管理費	0	0	0	3,435,400	5,423,980	△ 1,988,580	120,900	104,900	16,000
	バス借料	0	0	0	152,400	120,000	32,400	0	0	0
	備品・器具	0	0	0	2,000,000	2,800,000	△ 800,000	0	0	0
修繕費	0	0	0	600,000	400,000	200,000	0	0	0	
保険料	0	0	0	100,000	1,500,000	△ 1,400,000	20,000	0	20,000	
光熱水費(電話)	0	0	0	400,000	17,680	382,320	24,900	24,900	0	
固定資産税	0	0	0	85,500	350,000	△ 264,500	76,000	80,000	△ 4,000	
自治会協力費	0	0	0	85,500	86,300	△ 800	0	0	0	
ワークキャンプ経費	0	0	0	12,000	150,000	△ 138,000	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	50,000	0	50,000	0	0	0	
雑費	30,000	30,000	0	0	120,000	△ 120,000	0	0	0	
予備費	200,000	200,000	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	1,661,800	1,858,773	△ 196,973	0	0	0	0	0	0	
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計	2,601,800	2,808,773	△ 206,973	3,485,400	5,565,980	△ 2,080,580	121,400	104,900	16,500	
収支差額	△ 1,331,745	△ 1,088,709	△ 243,036	0	0	0	0	0	0	
前年度繰越金	1,924,633	2,605,773	△ 681,140	0	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	592,888	1,517,064	△ 924,176	0	0	0	0	0	0	

拠点 科目	ワークキャンプ			ハサー			地域の子ども研究会			
	予算額	前年度予算額	増減(△)	予算額	前年度予算額	増減(△)	予算額	前年度予算額	増減(△)	
収入	正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	個人正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小中高生の生活体験事業収入	20,000	20,000	0	300,000	700,000	△ 400,000	10,000	200,000	△ 190,000
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	100,000	150,000	△ 50,000
	受取利息	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	△ 100,000
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	55,000	80,000	△ 25,000	0	0	0	0	100,000	△ 100,000	
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入合計	55,000	100,000	△ 45,000	300,000	700,000	△ 400,000	110,000	550,000	△ 440,000	
支出	事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	会費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調査研究・研修事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	55,000	100,000	△ 45,000	0	0	0	0	300,000	△ 300,000
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	バス借料	0	0	0	0	0	0	0	0	
	備品・器具	0	0	0	0	0	0	0	0	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0		
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0		
光熱水費(電話)	0	0	0	0	0	0	0	0		
固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0		
自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0		
ワークキャンプ経費	55,000	100,000	△ 45,000	0	0	0	0	0		
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0		
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	110,000	250,000	△ 140,000	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0		
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分繰入金支出	0	0	0	300,000	700,000	△ 400,000	0	0	0	
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計	55,000	100,000	△ 45,000	300,000	700,000	△ 400,000	110,000	550,000	△ 440,000	
収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

拠点 科目	地域の障がい児・者			セツルメント研究会			
	予算額	前年度予算額	増減(△)	予算額	前年度予算額	増減(△)	
収入	正会員会費	0	0	0	0	0	
	個人正会員会費	0	0	0	0	0	
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	0	0	
	受取利息	0	0	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金収入	20,000	20,000	0	40,000	20,000	20,000	
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	
収入合計	20,000	20,000	0	40,000	20,000	20,000	
支出	事務費	0	0	0	0	0	
	会議費	0	0	0	0	0	
	会費	0	0	0	0	0	
	調査研究・研修事業費	20,000	20,000	0	40,000	20,000	20,000
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	
	管理費	0	0	0	0	0	
	バス借料	0	0	0	0	0	
	備品・器具	0	0	0	0	0	
修繕費	0	0	0	0	0		
保険料	0	0	0	0	0		
光熱水費(電話)	0	0	0	0	0		
固定資産税	0	0	0	0	0		
自治会協力費	0	0	0	0	0		
ワークキャンプ経費	0	0	0	0	0		
雑費	0	0	0	0	0		
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0		
雑費	0	0	0	0	0		
予備費	0	0	0	0	0		
拠点区分繰入金支出	0	0	0	0	0		
積立金積立支出	0	0	0	0	0		
支出合計	20,000	20,000	0	40,000	20,000	20,000	
収支差額	0	0	0	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	0	0	0	

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
1	風の子保育園(子どもの家)	松村 寛	533-0004	東淀川区 小松1-11-8	6328-4019	6328-4030
2	都島児童館	村上 明子	534-0021	都島区都島本通3-16-10-4F	6921-4385	6921-4385
3	平和の子どもの家(保育園)	松野 五郎	535-0022	旭区 新森 7-1-5	6954-0524	6954-1961
4	育徳園保育所(子どもの家)	倉光 慎二	545-0021	阿倍野区 阪南町 5-12-5	6621-1901	6621-1904
5	阿さひ保育園つくし会(学保)	西山 幸恵	545-0051	阿倍野区 旭町 3-1-6	6631-4718	6631-1607
6	望之門学童クラブ	藤井 道雄	545-0052	阿倍野区阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
7	今川学園隣保館(子どもの家)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
8	さくらんぼ保育園(子どもの家)	万福 潤一	547-0001	平野区 加美北 7-7-10	6791-2007	6791-8035
9	港隣保館子どもの家(保育園)	山口千扶美	552-0015	港区 池島 1-3-47	6571-3182	6571-7503
10	四貫島友隣館(子どもの家)	嶋田 良介	554-0022	此花区 春日出中1-15-13	6461-3713	6462-1072
11	愛染園愛染橋保育園 児童館	小谷 啓二	556-0006	浪速区 日本橋東 2-9-11	6632-5640	6632-5645
12	児童館・今池こどもの家	小谷 啓二	557-0016	西成区 花園北 2-16-26	6632-7020	6632-7020
13	長居保育園	宮川友理子	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
14	やまと保育園子どもの家	三谷 節子	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1746	6682-1786
15	リト教ミッド社会館ミッド保育園	富田恵美子	532-0028	淀川区 十三元今里1-1-52	6309-7121	6309-7123
16	育徳園(コミュニティーセンター)	村尾 光宥	545-0021	阿倍野区阪南町5-15-28	6621-1901	6629-1979
17	大阪市立西成市民館	河崎 洋充	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-1	6633-7200	6633-7203
18	東三国デイサービスセンター なみはや	和田美恵子	532-0002	淀川区 東三国 2-12-16	6350-2880	6350-2887
19	水仙の家(高齢者デイサービスセンター)	在町 香月	533-0004	東淀川区 小松 1-12-10	6370-2266	6370-2325
20	特別養護老人ホーム ひまわりの郷	海老子隆一	534-0021	都島区都島本通 4-10-19	6924-8880	6924-8883
21	特別養護老人ホーム いくとく	加藤 久美	545-0001	阿倍野区天王寺北3-18-16	6713-1165	6714-1185
22	高齢者デイサービスセンターいくとくⅡ	副)吉野三栄子	545-0013	阿倍野区 長池町 18-20	4399-0120	4399-0121
23	愛和デイサービスセンター	安藤 勝子	547-0002	平野区 加美東 1-6-35	6796-3520	6796-3751
24	長居子どもの家	宮川 成雄	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
25	地域生活支援センター 風の輪	加藤啓一郎	533-0004	東淀川区 小松 1-13-3	6323-6395	6323-2856
26	都島児童センター	丸山 智子	534-0021	都島区 都島本通 3-4-3	6921-5323	6921-5783
27	愛信保育園	金 恵心	544-0032	生野区 中川西 2-5-15	6712-2020	4303-4778
28	松の実保育園	松本 千幸	545-0021	阿倍野区 阪南町1-16-10	6623-5400	6628-8385
29	望之門保育園	金 恵栄	545-0052	阿倍野区阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
30	育和白鷺学園(保育園)	岡田 百代	546-0002	東住吉区 杭全 3-9-17	6719-2697	6719-2698
31	今川学園(保育園)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
32	北田辺保育園	戸田 正三	546-0044	東住吉区 北田辺 3-6-4	6713-0915	6713-0925
33	メリーガーデン保育園	天野佐知子	550-0013	西区 新町 4-13-16	6532-1360	7501-4278
34	めぐみ保育園	奥田 輝代	551-0011	大正区 小林東2-3-5-101	6553-4025	6553-5005
35	わかくさ保育園(あおぞら保育)	藤川 晴之	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-2	6633-2965	6633-2970
36	愛染園南港東保育園	森 典子	559-0031	住之江区南港東1-6-3-101	6612-1800	6612-1820
37	大国保育園	西野 伸一	556-0014	浪速区 大国 2-13-1	6649-6182	6649-5821
38	波除学園(アフタースクールKIDS)	佐藤 美智	552-0001	港区 波除 5-4-7	6585-3392	6585-3588
39	大阪聖和保育園	長瀬 光子	544-0034	生野区 桃谷 5-10-29	6731-6112	6718-2595
40	安立保育園	本山寿美子	559-0003	住之江区 安立 4-6-17	6671-8846	6671-8853

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
41	特別養護老人ホーム ガーデン天使	嶋田 真奈	554-0024	此花区 島屋 4-1-11	6460-0028	6460-0025
42	やまと保育園	名城 嗣盛	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1741	6682-1786
43						

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 個人正会員名簿

	会員名	〒	住所	TEL	所属
1	出水 敦美				
2	永岡 正己				
3	増岡 智典				
4	大川 明宏				
5	川畑 光大				
6	大方 美香				
7	石田 博一				
8	工藤 正和				
9	山本 征範				
10	浦田 ヤス子				
11	寺田 登紀子				
12	西口 智子				
13	岡野 加世子				
14	饗場 律子				
15	杉江 悦子				
16	吉田 妙子				
17	竹内 久美				
18	宮川 友理子				
19	宮川 ヒサ				
20	川崎 洋幹				
21	佐藤 剛				
22	飯田 信也				
23	宮川 成雄				
24	宮川 佳昌				
25	岡本 周佳				
26					
27					